

6次産業化サポート事業

1. 令和4年度事業費 2,750千円

2. 成果・効果

6次産業化・農商工連携に取り組む農業者に対して、専門家によるアドバイスを行い、商品化や販路拡大について支援した。

	R1	R2	R3	R4(前年比)
セミナー実績回数	4	4	5	5(±0)
セミナー受講者数	110	96	288	125(-163)
6次産業化・農商工連携支援補助金件数	4	5	5	3(-2)

【増減理由】

対象者を限定したセミナーを開催したこともあり受講者数の減となった。

補助事業の取組に関する相談件数は増加しているが、事業計画の進捗度等から事業実施に至らない案件が多く、取組件数が減少した。

【現況・傾向など】

I P C財団、食の技術コーディネーターをはじめ、農業経営、栽培の専門家による相談窓口をセンターに設置し、相談対応を行った。

また、食の安全や経営力向上などに関するセミナーについて動画配信や当センターを会場に実施した。

3. 今後の方針、可能性

この取り組みを進めることで、新商品開発や販路拡大など新事業展開に取り組む農業者や食品関連企業の課題解決に繋げていく。